

会 議 録

1 会議名

令和8年度第2回三和区地域協議会

2 議題（公開・非公開の別）

（1）自主的な審議（公開）

- ・地域課題解決に向けた「地域おこし協力隊」の活用について
三和の自然環境を守りながら、持続可能な農業を目指す取組について
地域コミュニティを維持するための仕組みづくりについて

（2）その他（公開）

- ・上越市公共施設等総合管理計画に基づく取組のスケジュール変更
- ・上越市の公共交通に関する意見聴取

3 開催日時

令和8年5月25日（月）午後6時30分から午後7時40分まで

4 開催場所

三和コミュニティプラザ 3階 多目的ホール

5 傍聴人の数

1人

6 非公開の理由

—

7 出席した者（傍聴人を除く）氏名（敬称略）

- ・委員：高橋（鉄）委員（会長）、龍池委員（副会長）、五十嵐委員、池田委員、江口委員、高橋（恵）委員、星野委員、牧井委員、松井委員、松栄委員、宮澤委員、宮嶋委員、茂木委員、渡邊委員（欠席なし）
- ・事務局：三和区総合事務所 丸田所長、小山次長、佐藤市民生活・福祉グループ兼教育・文化グループ長、江口地域振興班長、藤澤班長

8 発言の内容（要旨）

【小山次長】

- ・会議の開会を宣言
- ・上越市地域自治区の設置に関する条例第8条第2項の規定により、委員の半数以上の

出席を確認、会議の成立を報告

- ・同条例第8条第1項の規定により、議長は会長が務める

【高橋会長】

- ・挨拶
- ・会議録の確認について、「高橋恵子委員」にお願いします。
- ・「3 自主的な審議」に入る。

【話題提供：地域おこし協力隊について】

■ 説明

- ・事務局より資料No.1により説明

■ 質疑応答

- ・質問／意見：地域おこし協力隊は過疎地域でなければ活用できないのか。三和区への派遣は可能なのか。
→回答：必ずしも過疎地域に限定されるものではなく、三和区を含め派遣は可能である。
- ・質問／意見：専門スキルを持つ人材を指定して募集できるのか。
→回答：地域課題を明確にした上で、必要な人材像を整理し要望することは可能である。
- ・質問／意見：募集主体によって人材の性質は異なるのか。
→回答：市募集では地域密着型、県募集では専門職型など、傾向に違いがある。
- ・質問／意見：協力隊の身分は行政職員となるのか。
→回答：職員ではなく、行政から委嘱を受け活動する制度である。
- ・質問／意見：協力隊は自由に活動できるのか、それとも制約があるのか。
→回答：活動は一定のルールや行政との調整のもとで行われるものであり、完全な自由活動ではない。
- ・質問／意見：地域として協力隊を求める場合の考え方はどのように整理すべきか。
→回答：漠然と要望するのではなく、地域課題を明確にし、その解決手段として

協力隊が適切かを検討したうえで要望することが重要である。

(その他)

【議題1 上越市公共施設等総合管理計画に基づく取組のスケジュール変更について】

■ 説明

- ・事務局より資料No.2により説明

■ 質疑応答

- ・質問／意見なし

【議題2 上越市の公共交通に関する意見聴取について】

■ 説明

- ・事務局より資料No.3により説明

■ 意見

- ・意見：里公地区はもうほとんど路線バスが通っていないため、利用者が少ない状況にある。バスをこのまま維持すべきか検討が必要ではないか。
- ・意見：バスは重要な交通手段である一方、乗り継ぎが多く時間がかかるなど利便性に課題がある。特に通学や通院での利用の不便さが課題ではないか。
- ・意見：現在の運賃は高額であり、自家用車での送迎よりも費用がかかる場合がある。多額の補助金をバス会社に交付するくらいなら、利用促進のためには運賃引き下げの検討が必要ではないか。
- ・意見：補助金に大きく依存した運営である中で、路線バスの維持に加え、スクールバスや地域交通への転換など、効率的な運用を検討すべきではないか。
- ・意見：地域住民の通院や日常生活の移動手段としての役割は依然重要であり、単純な廃止ではなく代替手段の確保が必要である。

【次回地域協議会について】

- ・6月24日（水）、午後6時30分から決定。

【龍池副会長】

- ・挨拶
- ・会議の閉会を宣言

9 問合せ先

三和区総合事務所 総務・地域振興グループ TEL : 025-532-2323 (内線 215)

E-mail:sanwa-ku@city.joetsu.lg.jp

10 その他

別添の会議資料も併せてご覧ください。